

space kid's Carnival

一般社団法人 CIS

〒165-0031 東京都中野区上鷲宮 4-6-20 イサカビル2F

助成事業の概要

毎年12月になかの芸能小劇場（東京都中野区5-68-7 2階）にて、当施設利用者（発達障害児、ダウン症児等）が舞台演劇経験者の当施設指導者、監修のもと演劇練習、発表の場を持つ。

二部制イベントとし、第一部は地域中野区でダンススクール、S-BLUNE DANCE STUDIO（東京都中野区本町3-32-15 クラウンズコートなかの1階）のダンス生のダンスパフォーマンス。健常児と一緒にステージに。当施設利用者と音楽、ダンスを通じて同じステージで楽しむ。第二部は、当施設利用者で結成した劇団スペースキッズの演劇。

事業の成果

今年3年ぶりに地域の中野区のダンススクールの生徒さんに出演と障害のある方(知的・発達・精神・身体)の劇団 SEWさんの方々にゲスト出演頂き、また今年初めて練馬区立生涯学習センターホールでの二部構成で開催しました。

一昨年（2021年）から二部制を中止としていましたが、新型コロナウイルス感染対策を徹底した上で行い、また今回で施設での演劇の活動は休止することもあり二部構成を復活させたいと思い開催となりました。

去年と同じく当施設ご利用者の子供は、映像のみの出演者と本番当日出演者の二組に分かれての参加にしています。

今回も映像を取り入れながら演劇となり子供達も

だんだん演技に慣れてきて劇団 SEWさんとの出演もあって緊張感のある稽古練習が出来ました。

今年で単独での公演は5回目となり今までの成果を引き出せる演劇にもなりましたが、子供達の中で慣れてきた気持ちが余裕な部分が練習中に出てしまう様子もありました。

それでも子供達へ演劇の楽しさや相手への感謝、達成感などを一人一人の自信に繋げてもらいたい気持ちも思い、時には厳しい指導もしました。

本番当日では、第一部ダンススクールの生徒さんの力強いダンスパフォーマンスから始まり第二部から劇団スペースキッズの演劇が始まりました。

当演劇ご参加利用者の保護者、劇団 SEWさんの保護者・関係者様、ダンススクールの生徒さんの保護者様、スタッフ関係者様、当施設のご利用者（児童）と指導員（職員）の約40名のお客さん、ご来場頂き子供達もさらに緊張感ある本番となりました。本番が始まってしまうとちゃんと切り替え、役になりきりセリフを一生懸命大きな声を出して最後まで諦めずに演じてくれていました。劇団 SEWさんの演技も大きな声でセリフ言っていてこちらが圧倒されてしまいそうな事もありましたが当施設の子供達も負けじと取り組み本番成功出来て良かったと思います。

成果の広報・公表

毎年地域の学校関係の方や当施設利用者の保護者様など鑑賞会として、劇場にて行っておりましたが今回も新型コロナウイルス感染症の感染対策の

為、鑑賞会は、当施設利用者の劇団スペースキッズの参加者の保護者、出演者関係者、スタッフ関係者様、当施設ご利用者の児童と指導員（職員）のみの鑑賞となりました。

今年の1月から1ヵ月限定収録した動画を当施設利用者の方にアーカイブ配信としてお知らせしました。

※アーカイブ配信は、プライバシー保護の為、当施設ご利用者のご家族のみでの鑑賞をしています。

■ 今後の展開

今回で単独公演が5回目という節目として、区切りのいい演劇公演だったと思います。

子供達も毎年練習を重ねていく中で演劇への思いも少しずつ変わってきていて一生懸命頑張ろうという気持ちがありまだまだ緊張や不安もある子もいます。

その中でもお友達にフォローをしてくれる子も増えて演劇に対する気持ちや相手を思い合う力や協力し合うことが少しずつ考えて行動出来るようになって成長を感じました。

地域交流とも3年ぶりに参加が出来て、子供達も一緒に関わって良い経験になったと思います。

子供達には、演劇での経験を今後に活かしていけたらと思いますし、いろんなことへのチャレンジもして行ってほしいと思いました。